

# 警城時報

行發日八十  
編輯兼發行 岡田弘成  
印刷所 警城時報社  
發行所 警城時報社  
一部金貳圓 一月金貳圓  
廣告料 一行十文字五十五錢  
日刊(日曜祝祭日)翌日休刊

## 起債の認可が疑問

### 平市の工業學校

#### 當局で寄附募集を急ぐ

平市に設置する縣立工業學校は起債に求めんとするが現下四月の新學期に開校を目指し調非時下内務省で許可するか否を急いでいるが、經費は大體か多大の疑問が残されてゐる。五十五萬圓で、これは敷地購入費機械設備等一切を含んでゐる。縣學務部では舊冬來若手縣の工業學校の内容を土臺に設計に當つてゐる。學校は電氣科、探礦平市農會昭和十五年度豫算は三治金科の二科目で、一科目目三、四百圓で前年度より六百圓の十名宛の生徒を收容、全學年を増加である、新事業としては主として二百名とする筈である。に生産擴充方面の施設を計劃するこの經費は全部平市の寄附で取る事になつた外農家千餘戸に對しは三十一萬圓で、二十四萬圓で交付し自家用梅干の製造を奨励してゐるので平市では殘額を勵する事になつた。

## 市農會豫算 六百圓増加

▲二十四日四倉校(四倉、草野、大浦、大野、夏井、双葉、大久、久之瀨)  
▲二十六日澤渡校(澤渡、永戸、三坂、箕輪)

## 窃盜血發覺を恐れ 出征兵に化ける

小名濱町竹町居住藤岡縣警東郡富岡村生れ漁夫勝又長吉(三三)は去る三日同町古港矢内トクさん方に忍び入り簞笥から三十一圓五十錢を窃取したが發覺を恐れて出征兵に化け旗幟旗や千人針を買ひ込み同町横町飲食店大黒屋に登樓、泥酔して旗を置き去り行術を奪はれたが十七日夜平塚に檢査された。

## 青少年を動員し 木炭増産報國

縣では左記日割で青年團擴張並に團長は縣に招集協議する豫定で、協賛事項は週日決定した。青、年團と中等農業學校生徒、木炭増産報國、即ち青少年炭燒部隊出動及青年團奉耕神農田、定勤報國旗取扱ひその他の事項で、出席者は青年團團長、青年團長、專任教員、産業部長、共市町村に於ける木炭製造に經驗ある青年團員一名である。尙木炭製造施設豫定の町村青年

## 小名濱測候所 氣象觀測

從來氣象通報は福島測候所から各方面に發せられたが、今年からは白河測候所が開所され尙ほ小名濱測候所が平、石城、双葉、相馬の一市三郡を區域として地方別に觀測することとなつたので本縣の氣象觀測は一層充實

## 中鹽の 地入り工事

平市宇中鹽蘭秀寺前山林二百坪が地入りしたため所が露出し、上警城小川江筋の水路を埋没したので組合では工費四千圓で復舊工事を急いでゐるが数日中に完成する。

## 靜岡の 罹災者へ寄付

平市谷口樓女中志賀ツルさん、藝妓小柴加藤美江さんは各々十圓宛靜岡市大火罹災者見舞金として平市役所に寄付した。

## 四倉町 車檢査

四倉町の車檢査は二十日午前九時半から午後三時まで同町役場で行ふ。

## ナダで頭を割る 全治三週間の重傷

内郷村高坂宇立野資業鈴木久兵衛として村役場に寄託した(四四)は十七日午後四時頃路で遭ひ鈍て金平の頭部を斬り全治三週間の重傷を負はせ平塚に檢査された。

## 湯本料理屋 勤績者表彰

湯本町料理屋組合では二十三日總會を開き左記永年勤績者を表彰する。  
▲二十五年勤績山形屋旅館番頭長七▲二十五年十月月同家女中熊谷サク

## 三十五圓寄附

内郷村高坂御殿商業組合では新年宴會費を節約し三十五圓を流

## 舊正月を控へて 日用品のコソ泥 盜難届は速に出せ

舊正月を間近に控へた平市内に泣くにも泣けぬ始末、それに加最近頃で日用品専門のコン泥がへて盜難品が日用品だけに價跳築拔屋して品不足の波とあひ赤が低廉をなために奥さん、且まつて市民に一抹の不安を感じさせてゐるが、このコン泥は折出でぬために遂に泣きの涙で濟全くその製造を禁止され、運動角炭屋より三拜九拜してやつとますといふ社會現狀が生んだ泥靴も僅かに許された範圍内での買ひ求めて來た木炭が明日の朝棒が輝き二千六百年を迎へて増加する一方なので取銷當局はめて居り、箇か一足の運動靴入

## 日立事務員 無錢飲食

茨城縣日立町日立山事務員吉田(三四)は十六日午後四時頃から平市南町飲食店藤川モリヨさん方に登樓三圓七十錢の無錢飲食を働らき平塚に檢査された。

## 藁靴獎勵

戦況を打開し南陽鎮攻撃の端緒の開きは一に軍曹の勇敢なる指揮によるものと認め其の功績卓著なるものと認め茲に表彰状を附與す。  
昭和十四年十二月六日  
菊地 部隊長

## 南陽鎮攻撃に於ける 殊勳者表彰せらる

去る十二月六日第八路軍東進支隊の本隊南陽鎮攻撃の戦に於て作戦行動上抜群の功績を樹てた者に對し菊地部隊長からそれぞれ名譽ある表彰状が授與せられた。  
本部 只野 一 軍曹 (福島縣出身)

## 菊地部隊通信

續せられたる緊要の地を〇し堅固なる築城と數月來構築せられたる地を占據す。部隊は此敵に對し六軒の長堤を攻撃前進し敵前三百米に到るや十字火を堤上に發射敵を對峙すること六時間余付伐隊は唯敵の斜射側射を被る。此の彈丸雨の間に常時身を護蔽することなく毅然として命令傳達と反單並に敵の視察に任したる只野軍曹は「只野行きます」と昂然と呼號して地形上攻撃不可能なるを、

## 石塚畫伯 大額寄贈

日下來平中の畫家三春町出身石塚省三氏は四尺に六尺の額を揮毫し平塚武徳殿に武道高揚の意もあつた。寄贈する事になつた。同畫伯は帝展に十一回入選してゐる。

## 八方散

治んで腫物の妙藥  
水野藥局  
平市一、電六九九

## 天氣豫報

今晩は北の風晴一時曇明日は北の風晴一時曇

## 藁靴獎勵

戦況を打開し南陽鎮攻撃の端緒の開きは一に軍曹の勇敢なる指揮によるものと認め其の功績卓著なるものと認め茲に表彰状を附與す。  
昭和十四年十二月六日  
菊地 部隊長

## 日立事務員 無錢飲食

茨城縣日立町日立山事務員吉田(三四)は十六日午後四時頃から平市南町飲食店藤川モリヨさん方に登樓三圓七十錢の無錢飲食を働らき平塚に檢査された。

## 藁靴獎勵

戦況を打開し南陽鎮攻撃の端緒の開きは一に軍曹の勇敢なる指揮によるものと認め其の功績卓著なるものと認め茲に表彰状を附與す。  
昭和十四年十二月六日  
菊地 部隊長

## 南陽鎮攻撃に於ける 殊勳者表彰せらる

去る十二月六日第八路軍東進支隊の本隊南陽鎮攻撃の戦に於て作戦行動上抜群の功績を樹てた者に對し菊地部隊長からそれぞれ名譽ある表彰状が授與せられた。  
本部 只野 一 軍曹 (福島縣出身)

## 菊地部隊通信

續せられたる緊要の地を〇し堅固なる築城と數月來構築せられたる地を占據す。部隊は此敵に對し六軒の長堤を攻撃前進し敵前三百米に到るや十字火を堤上に發射敵を對峙すること六時間余付伐隊は唯敵の斜射側射を被る。此の彈丸雨の間に常時身を護蔽することなく毅然として命令傳達と反單並に敵の視察に任したる只野軍曹は「只野行きます」と昂然と呼號して地形上攻撃不可能なるを、

## 石塚畫伯 大額寄贈

日下來平中の畫家三春町出身石塚省三氏は四尺に六尺の額を揮毫し平塚武徳殿に武道高揚の意もあつた。寄贈する事になつた。同畫伯は帝展に十一回入選してゐる。

## 天氣豫報

今晩は北の風晴一時曇明日は北の風晴一時曇

## 藁靴獎勵

戦況を打開し南陽鎮攻撃の端緒の開きは一に軍曹の勇敢なる指揮によるものと認め其の功績卓著なるものと認め茲に表彰状を附與す。  
昭和十四年十二月六日  
菊地 部隊長

## 日立事務員 無錢飲食

茨城縣日立町日立山事務員吉田(三四)は十六日午後四時頃から平市南町飲食店藤川モリヨさん方に登樓三圓七十錢の無錢飲食を働らき平塚に檢査された。

